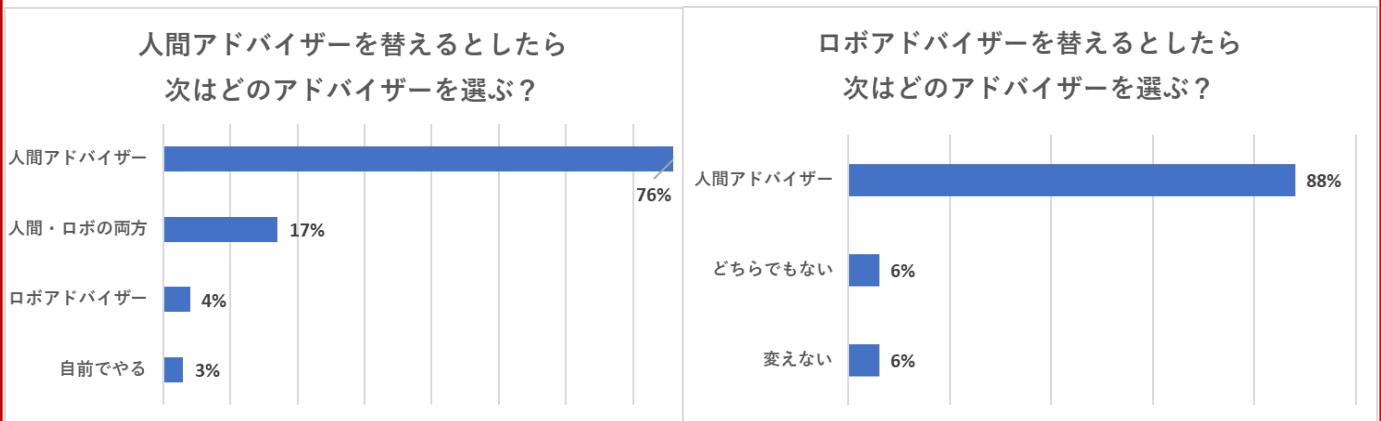


## ATTENTION

### アドバイザーを替えるとしたら、どのアドバイザーを選ぶ？



米国有数の運用会社、バンガードが興味深いレポート(2022.05作成)を出していましたので、ここで紹介しましょう。資産運用アドバイスを受けている1500人以上の個人を対象としたアンケートによると、生身の人間にアドバイスを受けている人(およそ全体の75%)の中で、76%の人が、これまでと同じように人間によるアドバイスを受けたいと答えています。人対人の生のアドバイスを求めるニーズが非常に強いことがわかります。さらに、ロボアドバイザー(原文ではDigital advisor)のサービスを受けている人のうち、88%の人が人間によるアドバイスサービスに替えたいとしています。このデータ、生のアドバイスの潜在ニーズが大変高いことが伺えます。一方で、それでもなぜ生のサービスを受けないかということですが、私の推測ですが、一步が踏み出せない、最低助言額に満たない、どのアドバイザーがよいのかわからないというようなことが考えられます。このアンケートによれば、人間のアドバイスには年率5%、ロボアドバイスでも3%の価値があるとのこと。運用利回り5%とした場合、アドバイスの価値はかなり高く、運用利回りと同じ程度の価値があるということになります。これは無視できない数字です。また最終ゴール達成に、人間のアドバイスは16万ドルも多く、ロボアドバイスでも5万ドル多く近づくとしています。どちらもゴール達成に近づくとは言え、この差は、かなり大きいものがあります。また人間のアドバイザーの方が、個人的結びつきができ、個別事情や必要性を理解し、精神的サポートをしてくれて信頼感を持てるとしています。米国では、人間、ロボット、どちらの資産運用アドバイスサービスも広く行き渡っていることは事実ですが、個人の運用先進国、米国でのアドバイザーが果たす役割、その価値は、日本でも大いに参考になるでしょう。

## COLUMN

### そろそろ、わくわくすることを始めよう！

長かったコロナ戦争、感染者数は次第に減り、今度こそ鎮静化に向かうと期待します。マスク着用ルールはやや緩和され、外人観光客の受け入れもそろりと始まりました。2年半にもなる行動制限で、人々の気持ちは抑圧された状態でしたが、そろそろ、何か、わくわくすることを始める時が来たと思えるべきです。

たとえば、旅行に行くとか、映画、観劇、スポーツ観戦に行くとか、久しぶりに友達に会うのもいいでしょう。この機会に新しいことを始めてもいいでしょう。たとえば、これまでやりたかったが、なかなかできなかったことを始める、近くても、まだ行ったことがないところに行ってみる、中距離の電車(上野・東京ラインなど)に乗っていると、鉄道の一人旅をしている人をよく見かけます。その人の顔は、結構楽しそうです。自然の中でハイキングする、新しいレストランを開拓するなど、考えるだけでわくわくしてくることは、結構あります。私の場合は、ジムで新しいメニューを加える(大した事ではないのですが)。この目新しいことをやると、ドーパミン・システム(よい興奮状態を作る機能)を活性化するそうです。

ただ、これらを一気にやろうとする必要はありません。最初は、小さく始めればいいのです。少しずつ慣らしていくことが、脳に、やり始めたことが思ったより悪くなく、やれそうだというシグナルを送ります。そして、やっていることに対して、前向きに向き合うと、脳は次第にそちらの方向に向いていきます。「あれっ、面白いじゃないの!」「楽しい!」と、自分に言い聞かせることもよいといえます。こう書いている私も、なにやら、わくわくしてきました!(情報ソース:米WSJ)

## MARKET

	(5月末)	(4月末比)
日経平均	27,279.80円	+431.90円 (+1.61%)
NYダウ	32,990.12ドル	+12.91ドル (+0.04%)
米ドル	128.75円	-1.15円 (-0.89%)

## 私の書棚より

どんな経験であっても、まったく無駄というものはない。計数の得意な創造的起業家という小林の特質は、三井銀行時代の下積みがなければ養われることはなかったのである。

—偉大なる経営イノベーター— 小林一三  
鹿島茂著

## 私の健康管理法

私、幸いにも学生時代からいままで、風邪以外に病気をしたことがないので、それなりに健康を管理しているのかなーと思っています。そこで、今回は、僭越ながら、私の健康管理法と題しまして、ご紹介しましょう。

まずは、規則正しい生活をする事です。毎日変わらない生活ということですが、これが身体には大変よいようです。身体がそのリズムを覚えているということでしょう。朝起きて、会社に行き、一日おきにジムに行き、家に帰って、寝る。毎日この繰り返しです。

さて、ここからは具体的な健康管理法です。

1. 早寝、早起き。私は、朝4時45分に起きて、夜は9時過ぎに寝ます。これが習慣になっていて、朝早く起きるのは、全く苦ではありません。それはそうです。9時過ぎに寝るので、睡眠時間は7時間半。もう体が覚えている、9時過ぎになると眠くなるのです(笑)。
2. 通勤は、雨の日以外は自転車。片道2.5キロの一本道で、距離的にはどうということはないのですが、橋が三つあり、上るのに、結構足を使います。今の調子なら、70歳、80歳になっても、行けそうです。実際、いつもそのくらいの年齢の人(同じ人)によく会います。
3. 朝早く会社に入ります。ビルの表ドアが開くのは7時。開くと同時に入ります。朝のオフィスは静かで落ち着きます。コーヒーを飲んで、マルチビタミン&ミネラルとビタミンDの錠剤を摂ります。このサプリは、知り合いの方に教えてもらったもので、身体に大変よいようです。

4. 昼は、家から持ってきた弁当などをデスクで食べることが多いのですが、ポイントはその後15分から20分の午睡。こうすると、頭がすっきりします。午後の仕事に入りやすいです。私の場合の眠る早業は、ちょっと本を読むこと。すぐ眠くなります！

5. そして仕事が終わると、いそいそと隣のビルのゴールド・ジムでトレーニング。このトレーニングは、一日おきに上半身、下半身の筋トレ、10キロのランニングをそれぞれ行います。トレーニングを始める前には、ストレッチ。これが身体には大変よいです。ストレッチをすると、筋肉がかなり縮まっているのを感じます。これを20種やります。そして筋トレ。いくつになっても筋肉はつくそうで、あの大村崑さんも、86歳から始めて90歳の今、元気はつらつとこのことです。私は、ジムでのトレーニングを30年やっていますが、本当にやっていてよかったと思います。

6. そして、夜の食事。特に食事は制限していませんが、肉類(赤身)は身体によいとすることで、食べるようにしています。アルコールは週に4日だけにして、日を空けています。もちろん、たばこは20年前に止めました。

7. 最後に健康診断。健康保険の健診、自主的な内臓の超音波エコーと消化器の内視鏡検査です。これをしていくと安心です。いざというとき、早期発見が大事です。

こんなところが私の健康管理法ですが、参考にさせていただければ幸いです！

## まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売しやすい商品をお客様に勧めるのではなく、お客様にもっとも適した金融商品をお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス  
代表 尾藤 峰男  
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス  
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386  
携帯：070-5567-3311 電子メール：info@bfsc.jp